



横浜国立大学は、学部教育と大学院教育に 発展的・積極的に取り組みます。

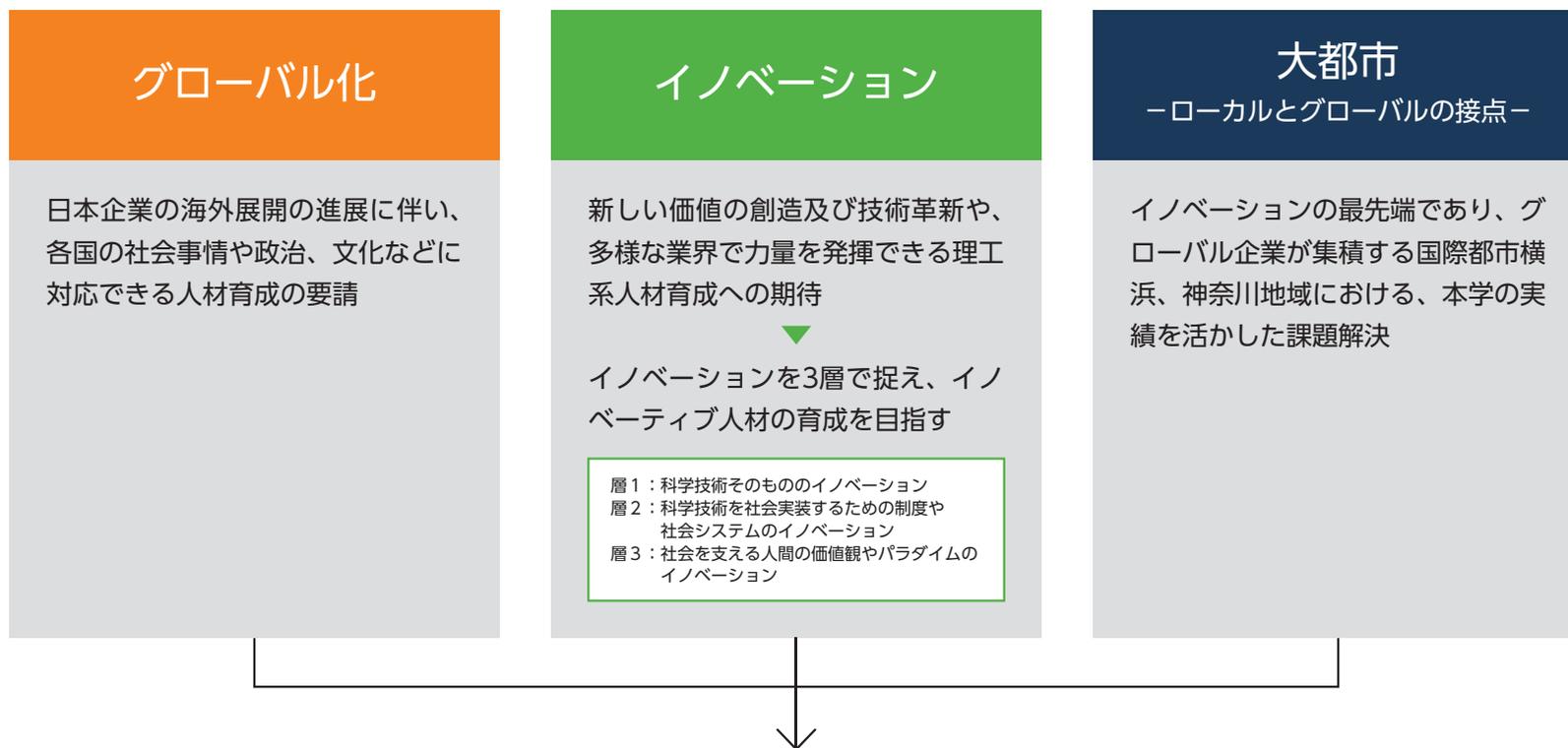
21世紀に入り、グローバル化が一層進展しています。本学が立地する国際都市横浜、神奈川県では、地域（ローカル）の諸課題への対応も急務です。本学は、理工学分野、教員養成分野、人文社会科学分野の教育組織が1つのキャンパスにある立地を活かし、文系と理系が協力する文理融合の教育研究に積極的に取り組んできました。

今後、横浜国立大学は、これらの条件を最大限に活かし、21世紀の諸課題に対応するために、学部教育と大学院教育に発展的・積極的に取り組みます。

平成27年10月23日

横浜国立大学長 長谷部 勇一

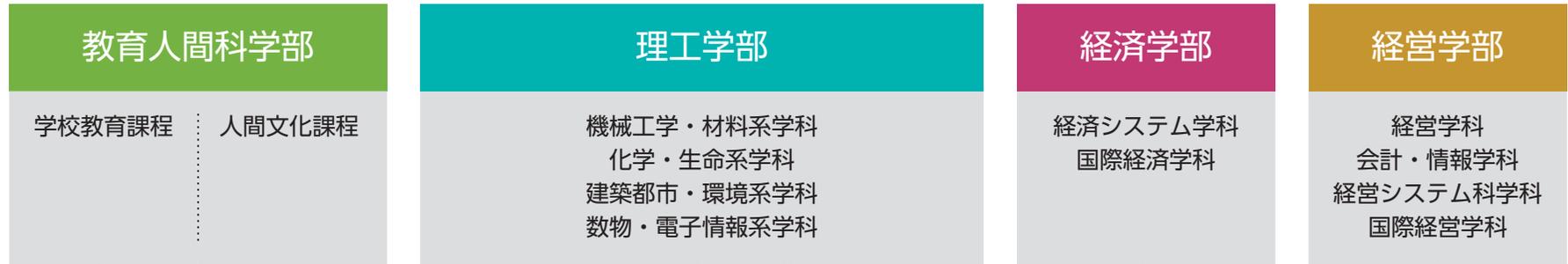
横浜国立大学では、理工学分野、教員養成分野及び人文社会科学分野の強みや特色を活かし、21世紀のグローバル新時代に求められる、広い専門性を持った実践的人材を育成する教育プログラムを実施するため、社会的必要性を踏まえた本学一体による教育組織の改編を構想中です。



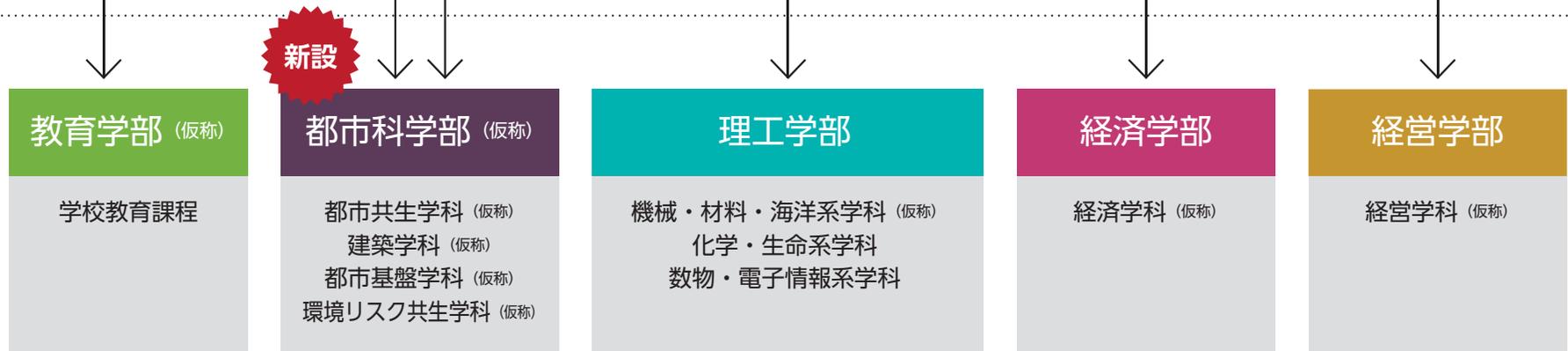
これら3つの社会的必要性に関わる諸課題を、理工学分野、教員養成分野及び人文社会科学分野から幅広く学ぶことができる、ワンキャンパスの優位性を活かした魅力ある大学づくりを目指し、学長のリーダーシップの下、本学一体による教育組織の改編を推進します。

本学一体による教育組織（学部）の改編（平成29年度）

現行



平成29年度
改編



学部名称を変更し、教員養成に特化した学部改編

人文社会科学系と工学系の融合を活かした都市づくりとグローバル社会、イノベーション創造を担う、今までにない新しい人材育成

新しい価値の創造や技術革新を導く付加価値の高い理工系人材を育成するため、4学科体制を3学科体制に改編し、教育体制を再編成

2学科を1学科へ改編し、幅広い知識の修得へと拡充

4学科を1学科へ改編し、幅広い知識の修得へと拡充

夜間主コースを改編し、ビジネススクールの要素を持つ新たな社会人教育プログラムを創設

* 組織名称・内容等は構想中のものであり、変更する場合があります。

本学一体による教育組織（学部）の改編（平成29年度）

【第3期中期目標（素案）前文「大学の基本的な目標」】

本学の伝統的な強みと特色により教育研究機能を更に充実・強化し、国際都市横浜発のグローバルな貢献を成し得る国立大学として、その責務を一層果たしていく。

教育学部（仮称）

人間文化課程を廃止し、学校教育課程のみの教育学部（仮称）に改編し、地域の教員養成の中核としての役割を果たします。

経済学部

現在の2学科体制を1学科体制とし、国内経済・国際経済の垣根なく幅広い専門能力と実践力を持つ人材を育成します。

経営学部

現在の4学科体制を1学科体制とし、経営全体を俯瞰しうる人材を養成します。夜間主コースを改編し、ビジネススクールの要素を持つ新たな社会人教育プログラムを創設します。

理工学部

現在の4学科体制を3学科体制とし、第三次産業を含む多様な業界で新しい価値の創造や技術革新を導く付加価値の高い理工系人材を育成します。

新設

都市科学部（仮称）

都市づくりとグローバル社会、イノベーション創造を担う次世代の人材を育成するため、都市科学部（仮称）を設置し、本学の文理融合の蓄積を活かした教育を行います。

*組織名称・内容等は構想中のものであり、変更する場合があります。

大学院の教育組織

【第3期中期目標（素案）前文「大学の基本的な目標」】

本学の伝統的な強みと特色により教育研究機能を更に充実・強化し、国際都市横浜発のグローバルな貢献を成し得る国立大学として、その責務を一層果たしていく。

教育学研究科 （平成29年度改編）

教職大学院を設置し、教員養成機能を強化します。

国際社会科学府

専攻横断型教育プログラムの見直しや、博士課程の全専攻で英語による教育プログラムを実施し、経済学部・経営学部において育成する新たな人材の受け皿となる教育体制を整備します。

工学府 （平成30年度改編）

第三次産業を含む多様な業界で新しい価値の創造や技術革新を導く、付加価値の高い理工系人材育成機能を強化します。

環境情報学府 （平成30年度改編）

都市イノベーション学府

建築、都市基盤における持続可能な発展と、多文化が引き起こすコンフリクトを創造的に乗り越え、新たな文化を生み続ける創造都市をめざして、多様な視点を提出していきます。

理工学部・都市科学部（仮称）で育成する人材の受け皿となる体制を構築します。

*組織名称・内容等は構想中のものであり、変更する場合があります。